

平成 24 年度第 1 回協働クロストーク！開催報告

- 1 日 時** 平成 25 年 2 月 9 日（土） 10：05～12：10
- 2 場 所** 市民会館 7 階研修室 1・2
- 3 テーマ** お父さんの子育て ～お父さんのための育児手帳～
- 4 参加者** 27 名（市民側 12 人、行政側 15 人。男性 17 人、女性 10 人。）
NPO 法人インフィニティー（育 MEN'S 倶楽部）
久米初、中野明、水野恭伸、関根志朗
ながさき子ども劇場 中村結花、田口信子
大浦青年会 森宏幸
おもちゃの館 ピーターパン 池康俊
長崎いのちを大切に作る会 増本小夜子
福岡県 NPO・ボランティアセンター相談員
芹田博、佐々木悠史、多原 真美
こども健康課
本村克明、氷室弥千代、荒木みずほ、緒方有紀子、吉岡省子
子育て支援課 北村和範
こどもみらい課 森由起子
幼児課 林伸二
しごと改革室 茂雅博、山田剛
市民協働推進室
松本憲明、原田宏子、岡本勇一、生駒太一、吉岡利章
- 5 狙い・目標** 現在作成中の育児手帳の見本について
- ① 担当課が伝えたいことが伝わるか
 - ② 育児手帳に掲載する内容のアイデアフラッシュ
- 6 当日の流れ**
- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 10：05～10：40 | オープニング |
| 10：15～10：25 | 各グループ自己紹介（所属、名前、活動の紹介。1分/人） |
| 10：25～10：45 | こども健康課から説明 |
| 10：45～11：30 | 各グループでの意見交換 |
| | ① 見本・説明を見てどう感じたか（感想・質問） |
| | ② よりよくなるための提案 |
| 11：30～11：45 | 各グループで出た意見の発表 |
| 11：45～11：55 | コーディネーター解説、ふりかえり |
| 11：55～12：05 | 各グループでのふりかえり |
| 12：05～12：10 | クロージング |

7 各グループの意見発表で出た意見

◆手帳の内容について	◆もっとよくするには
<ul style="list-style-type: none"> ○ いいことが書いてある ○ 妻の心情の変化は参考になった ○ P27 に掲載しているお母さんの栄養は～は大事。もっと前に掲載して。 ○ P20 の窒息するサイズなど具体的に書いてあるといい ○ 「病気のサイン、いざという時の対応」は参考になる。 ○ 情報量が多い。頭から全部読むのはつらい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほしい情報の入り口がわかるようにタグ付。最後にダイジェストを。目次を見やすく。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字が多くて読みにくい ○ 文字が小さくて読みにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手帳といっても持ち歩く人はほとんどいない。もう少し大きめのA5で。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性目線から書いている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象に寄り添った目線、赤ちゃん目線
<ul style="list-style-type: none"> ○ 母子手帳といっしょにできないか。親子手帳のような。必要なものだけ別に。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 母子手帳のダイジェスト版にしては
<ul style="list-style-type: none"> ○ 何を伝えたいのかをはっきりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てを楽しむポイント ○ ママを支える+パパが楽しむ
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教本的な内容 (年代にあった役割、子どもの発達段階など)
	<p style="text-align: center;">↑↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 育児書はマニュアルになってしまい、つい比較してしまう。一人一人の違いが大事というメッセージを
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記録ページを充実。 ⇒「初めての言葉」、「子どもと過ごして楽しかったこと」、「パパと呼ばれた日」、「父親と感じた時」、「いつお父さんになったと実感したか」など。書くことが辛くならないように

◆手帳の内容について	◆もっとよくするには
	<p>○ HP にアップ ⇒欲しいものを組み合わせてオリジナルの手帳にしては。アプリにしては。 ⇒解説動画。</p> <p>○ 手帳からつながるように ⇒救急のページには『練習したい人はコチラ』のように連絡先を入れる。育MEN'Sなどの団体の紹介など</p> <p>○ 内容をもっと具体的に ⇒子への接し方の注意、やりがちな失敗 例、エピソードや実体験、抱っこの仕方、妻が喜ぶ言葉。写真付きなどで解説。</p> <p>○ 父親の不安解消をあつく</p> <p>○ 第1子と第2子では求めるものが違う</p> <p>○ 遠いゴールを設定せず、小さいゴールを。 ⇒父親へのステップ1、2、3…など</p> <p>○ 表紙の色も大事</p> <p>○ 長崎の風習（戌の日、お宮参り、餅ふみ）、昔からの当たり前の常識を入れてほしい</p> <p>○ 公園の一覧</p> <p>○ 地域の中の相談窓口の一覧</p>

◆ネーミング案

- 父子手帳 ～子どもを授かって父親になるということを認識するために～
- しあわせのたね
- パパブック
- パパ本
- ネーミングとは別にキャッチコピーがあれば

◆その他

- 子育て中のお父さん、これからお父さんになる人、先輩お父さんが気軽に集まって話をする場をセッティング。校区単位。
- 父親は実感がなく、どこか他人事。エコー動画をスマホで取り込んでみたりすると実感がわくかも
- 手帳を使いながら育児にひきつけ、最終的には不要になる
- 世の中注意事項が多すぎる。楽しんでできるようなポイントを
- 母子手帳にも父親へのねぎらいの言葉をかけるよう書いて
- プレパパ講座を育 MEN'S が開催
- 男性は子どもの頃から子育てについて学ぶ機会を持つべき

8 参加者の感想・気づき

◆市民側

- 情報が氾濫している。過多
- もっと行政との対話があれば
- 母親のストレスを受け止める
- 母親が楽になるひとときを作る
- 対話のルールをあらためて学んだ気がする
- それぞれのよさがさらに発見できた。いい手帳ができることを願う
- 母親がいて父親。母親を支える父親という前提
⇒ “父親自身”、“父親として”、“父親の”という視点
- 子育ては楽しい
- 長崎の伝統、風習を入れてみては
- 父親だけ、母親だけなど1人にしない
- 手帳を作ることが目的化されてしまうので、手帳を使ってどのように続けていくか
- なんでも楽しくないと
- 子どもを育てるって、パパママも育つ感動の日々
- 父親が子育てにかかわろうという時代になってきているので、手帳はタイムリー
- サポートがたくさんあることを知ってほしい。
- 父親のグチが言える場を
- 「父親が育児に参加することを促進する」という行政の政策にふれたのが初めてで新鮮だった
- 手帳を作ることで夫婦、子ども、さらに他のお父さんとのつながりが作れて楽しめればいいのでは
- オリジナルの手帳を作るというアイデアはよかった
- 子育ては期間限定のわくわくプロジェクト（パパ業を楽しもう）
- 託児がほしかった

◆行政側

- 子育てに関しては、意見が十人十色。しかし、それを交換することで、視野が広がる。今日はその体験ができた
- 子どもの頃から子育てについて学ぶという目からウロコな意見
 - ⇒ 意見の違う人との意見交換は面白い
- 生の父親の意見が新鮮だった
- 多くの人が子育てについて考えたり、協力していることが知れてよかった
- 『楽しめる』『知りたい』『パパも支える』という視点が大切と気づいた
- パパの目線って知らないことばかり
- 色んな意見を聴くことで色んな視点がある
- 人の話を聴くのは面白い
- 昔の『常識』が『知識』になっている時代。子どもたちへの基礎教育がますます大切になっていることの意識共有ができた
- 子どもたちの発達段階に沿った父親の役割がある
- 父親、母親に子育てについて聞いてみたい
- 子どもの成長記録を残す手帳
- 子育てを楽しむ
- 時代にあった情報発信を。Web やアプリ
- 父親の立場でこんなに深く考える機会はなかったので、個人的に参考になった
- このように話し合える場が持てるとほかの父親も楽しく育児に関われるのでは。
- 記録も楽しんで書けるような工夫を
 - ⇒ 『初めて口にした言葉』、『子どもが2人で一緒にやったこと』
- 手帳を通して団体につながる
- 長崎らしい文化を大切に継承する
- ライフステージにあった責任とアイデンティティ
- 手帳が『家族』ができ始めるきっかけになればいい
- 育メンズのプレパパ講座に期待
- 男性の視点にたった情報を行政から発信することは重要
- 手帳を読んでもらう仕掛けがもう一つ必要
- 考えがたくなっていたかも

9 当日の様子

会場の様子



コーディネーター



担当課からの説明



グループの意見の発表

